

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月28日（月）

2 確認箇所

5・6号機原子炉建屋（図1）

3 確認項目

- （1）6号機新燃料の保管状況
- （2）5号機使用済燃料及び新燃料の保管状況

4 確認結果の概要

（1）6号機新燃料の保管状況

東京電力は、中長期ロードマップの目標である令和13年内の1～6号機燃料取り出し完了に向け、6号機の使用済燃料プールに保管されていた使用済燃料の取り出しを令和4年8月30日から開始し、今年4月16日に全1,456体の取り出しが完了した。

また、6号機に保管されている新燃料※¹428体についても、今年度下期から取り出しを行う予定としている。

今回は、6号機原子炉建屋に保管されている新燃料の保管状況を確認した。

- ・新燃料230体が保管されている新燃料貯蔵庫は、蓋が閉じられており、蓋上に物品の仮置きもなく、確認した範囲において管理状況に問題はなかった。（写真1）
- ・新燃料198体が保管されている使用済燃料プールのプール水はオーバーフロー水位※²付近にあり、水面に異物は確認されなかった。周囲は整理整頓されており、確認した範囲において管理状況に問題はなかった。

（写真2）

※1 新燃料：未使用の燃料。使用済燃料に比べて放射線量が極めて低く、人が接近して取り扱うことが可能。熱が発生しないことから、プール等での冷却も不要。

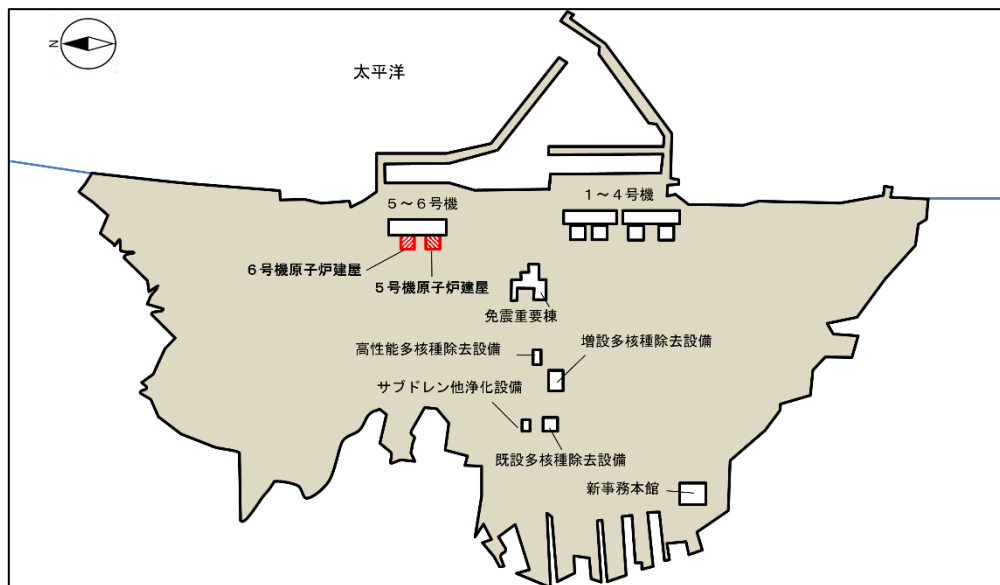
※2 オーバーフロー水位：使用済燃料プールにおいて、冷却系が適切に運転している状態を示す基準水位。この水位を超えてオーバーフローした水は、スキマサージタンクに流入し、熱交換器やろ過器を通過したのち、再び使用済燃料プールへ戻される。

(2) 5号機使用済燃料及び新燃料の保管状況

東京電力は、中長期ロードマップの目標である令和13年内の1～6号機燃料取り出し完了に向け、5号機の使用済燃料プールに保管されている使用済燃料の取り出しを令和7年7月23日に開始した。

本日は、1,542体の燃料（使用済1,374体、新燃料168体（令和7年7月23日現在））が保管されている使用済燃料プールとその周囲の状況を確認した。（前回確認：令和7年6月12日（使用済燃料））

- ・使用済燃料プールのプール水はオーバーフロー水位付近にあり、水面に異物は確認されなかった。周囲は整理整頓されており、確認した範囲において管理状況に問題はなかった。（写真3）
- ・燃料取り出しに使用する燃料交換機は、使用済燃料プールの直上を避けた位置で待機していた（地震に備えた対応）。（写真4）
- ・新燃料貯蔵庫の蓋は閉じられていた。なお、5号機の新燃料貯蔵庫に新燃料は保管されていない。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

6号機新燃料貯蔵庫の状況



(写真2)
6号機使用済燃料プールの状況



(写真3)
5号機使用済燃料プールの状況



(写真4)
5号機燃料交換機の状況



(写真5)
5号機新燃料貯蔵庫の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。